

公益財団法人 放射線影響研究所

NEWS健診だより

第2号

2017年9月1日
発行

“NEWS”は、「緊急作業従事者に対する疫学的研究 “Nuclear Emergency Workers Study”」の頭文字を並べた本研究の略称です。NEWSは、緊急作業に従事された方々に対する生涯にわたる健康のサポートおよび放射線の人体への長期的影響を明らかにすることを目的としています。



Photo: 神奈川新聞花火大会

1986年の第1回から昨年の第31回まで、神奈川県下最大級の花火大会として、横浜の夜景を彩っている。昨年は1万5千発以上の花火がきらめき約19万人の眼を楽しませた。2017年度以降は安全上の理由により、当分の間休止が発表されている。

■写真協力: 神奈川県予防医学協会

ご挨拶

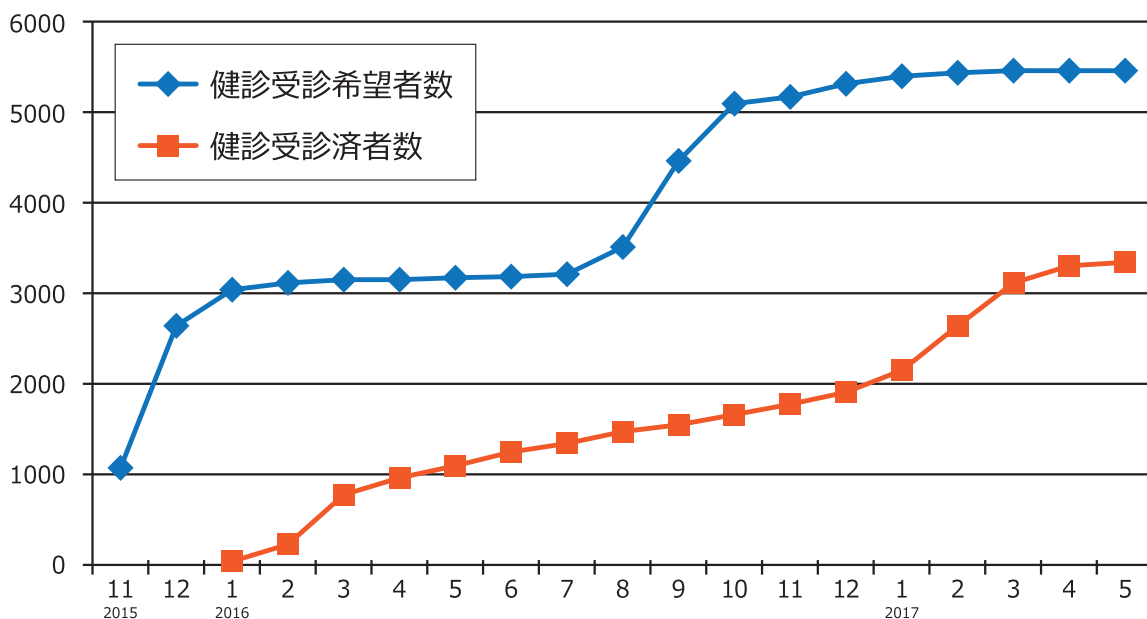
昨年創刊した「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」のニュースレター「NEWS健診だより第2号」をお届けいたします。昨年以來、本研究は順調に進んでおり、まずは皆様のご協力に心から御礼を申し上げます。この研究は皆様方の生涯にわたる極めて長期間の調査です。本紙では毎年、調査の進捗状況を中間報告しておりますが、この一年間私どもが最も努力を傾注したことは、本研究への参加者を増やすことでした。本疫学研究は、大勢の方々のデータを集団として解析することにより、被ばくの影響を明らかにすることを目的としています。そのためには、現在までのご協力数ではまだ不十分で、今後も研究参加者数を増やす努力を続けてまいります。皆様方におかれましても、一人でも多くの緊急作業従事者の方が本研究にご参加いただけるよう、ご理解とご協力をなにとぞよろしくお願い申し上げます。



研究代表者 大久保利晃

NEWS健診進捗状況

NEWSでは、3～4年に1回の生涯にわたる健康診断の実施を計画しており、2016年1月より順次、全国で1回目の健康診断を実施してきました。2017年5月末日時点での健診受診希望者は5,472名（うち、健診実施済者は3,338名）となりました。



NEWS健康診断の内容は？

NEWSの健康診断、労働安全衛生法に基づく定期健康診断¹⁾(会社で1年以内毎に1回実施されている健康診断)、一般的な一日人間ドック²⁾で実施される内容を比較しました。

NEWSの健康診断は無料で受診できますが、一般的な一日人間ドックと比べても遜色ないことがお分かりいただけるかと思えます。NEWSの健康診断は3～4年に1回を予定していますので、市町村のがん検診や個人で受ける人間ドックと上手に組み合わせて、皆様の健康管理にお役立てください。

○:実施される検査 | ×:実施されない検査 | □:いずれかが実施される検査 | △:医師の判断により実施される検査 | (○):希望により実施される検査

検査内容は、NEWSの健康診断、定期健康診断、人間ドックの項目を網羅しています。

	NEWS健診	定期健診 ¹⁾	人間ドック ²⁾
身体計測	身長	○	○
	体重	○	○
	肥満度	×	×
	BMI	○	×
	腹囲	○	○
生理学的検査	血圧	○	○
	心電図	○	○
	心拍数	×	×
	眼底検査	×	×
	眼圧検査	×	×
	視力検査	○	○
	聴力検査	○	○
	呼吸機能検査	×	×
血算	赤血球	○	○
	白血球	○	×
	血小板数	○	×
	血色素	○	○
	ヘマトクリット	○	×
	MCV	○	×
	MCH	○	×
	MCHC	○	×
	白血球分画	○	×
	肝機能	AST (GOT)	○
ALT (GPT)		○	○
γ-GTP		○	○
総ビリルビン		○	×
総蛋白		○	×
アルブミン		○	×
ALP		○	×
LAP		○	×
LD (LDH)		○	×
コリンエステラーゼ		○	×
腎機能	尿素窒素	○	×
	クレアチニン	○	×
	尿酸	○	×
	Na	○	×
電解質	K	○	×
	Cl	○	×
	Ca	○	×
	P	○	×

	NEWS健診	定期健診 ¹⁾	人間ドック ²⁾
脂質	総コレステロール	○	×
	HDL コレステロール	○	○
	LDL コレステロール	○	○
	中性脂肪	○	○
	血糖	○	□
糖	HbA1c	○	○
甲状腺機能	甲状腺刺激ホルモン (TSH)	○	×
	遊離サイロキシン (FT4)	○	×
	遊離トリヨードサイロニン (FT3)	○	×
	抗サイログロブリン抗体	○	×
	抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体	○	×
肝炎	HBs 抗原	○	×
	HBs 抗体	○	×
	HBc 抗体	○	×
	HCV 抗体	○	×
血液検査その他	CRP	○	×
	ヘリコバクター・ピロリ抗体	○	×
	ペプシノーゲン	○	×
	PSA	○	×
	血液型 (ABO)	×	×
	血液型 (Rh)	×	×
	梅毒反応	×	×
尿	潜血	○	×
	蛋白	○	○
	糖	○	○
	亜硝酸塩	○	×
	PH	×	×
	沈渣	×	×
便	比重	×	×
	潜血	○	×
喀痰	細胞診	○	×
X線検査	胸部 X 線検査	○	○
	上部消化管 X 線検査	×	×
内視鏡	上部消化管内視鏡検査	×	×
	腹部超音波検査	○	×
超音波	甲状腺超音波検査	○	×

1)の定期健診は40歳以上(省略できる項目のない年代)を想定。

2)の項目は人間ドック学会による「一日ドック基本検査項目表2017」を参照した。
PSAはオプションで実施可能。

健診までの流れ

参加意向確認

健診参加意向調査回答用紙に必要事項を記入し、ご返送ください。
お手元がない場合は事務局へご連絡ください。
フリーダイヤル 0120-931-026

健診予約

- 1 ご自身で選択された健診機関より、電話または手紙にて受診予約調整の連絡が入ります。
- 2 予約確定後、健診機関より検査容器・質問票等をお送りします。
※健診機関によっては予約調整の連絡をお待たせする場合がありますが、必ずご連絡差し上げます。

健診受診

- 1 健診の所要時間は半日程度です。
- 2 健診機関から届く、受診案内の注意事項をよくお読みください。
- 3 規定により算出した交通費等を、健診当日にお支払いします。

健診は
無料です

結果報告

1 カ月以内を目途に結果を郵送いたします。

※検査の結果、精密検査が必要な場合は、ご自身の負担(健康保険)となります。

- 今回参加を希望されない場合でも、将来いつでもご参加いただけます。
- 研究への参加は自由であり、参加されなくても不利益を受けることは一切ありません。
- 一度研究に参加された場合でも、途中で参加を止めたい場合は、不利益を被ることなくいつでも中止することができます。

NEWSのウェブサイトがオープンします!

ウェブサイトからも研究参加の登録が可能となりました。詳しくは <http://news.rerf.or.jp/>へ。

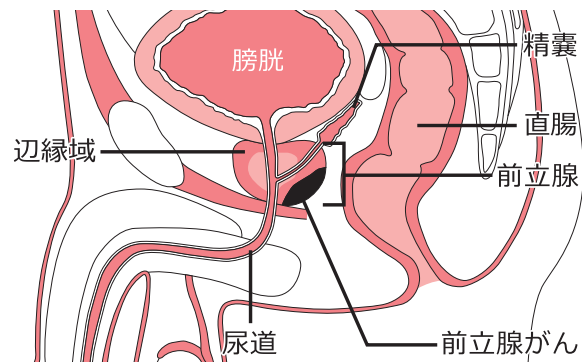


ナースKの知^得 Vol.1 前立腺がん

前立腺がんは、日本人男性がかかるがんの1位¹⁾となりました。発症は50歳以上では加齢とともに急激に増加します。多くの前立腺がんは辺縁域に発生します。

まず、血液中のPSA (Prostate Specific Antigen) 値を調べ、前立腺がんの疑いがあるかどうかをふるい分けします。PSAは前立腺から分泌されるタンパク質で、健康な男性では血液中に少量存在しています。前立腺に何らかの異常があると、増加したPSAが血中に流れ込み濃度が高くなります。PSA値が高い場合に考えられる疾患は、前立腺肥大症、前立腺がん、前立腺炎などです。「PSA値が高い=前立腺がん」ではありませんが、PSA値は高くなればなるほど、前立腺がんの見つかる確率が高くなることが知られています。

早期発見、早期治療が特に重要となりますので、血液検査で「PSA値が高い」と指摘された場合は放置せず、泌尿器科を受診し、精密検査が必要かどうか相談しましょう。現在では、食生活の欧米化も原因の一つと考えられていますので、食生活の改善にも努めましょう。

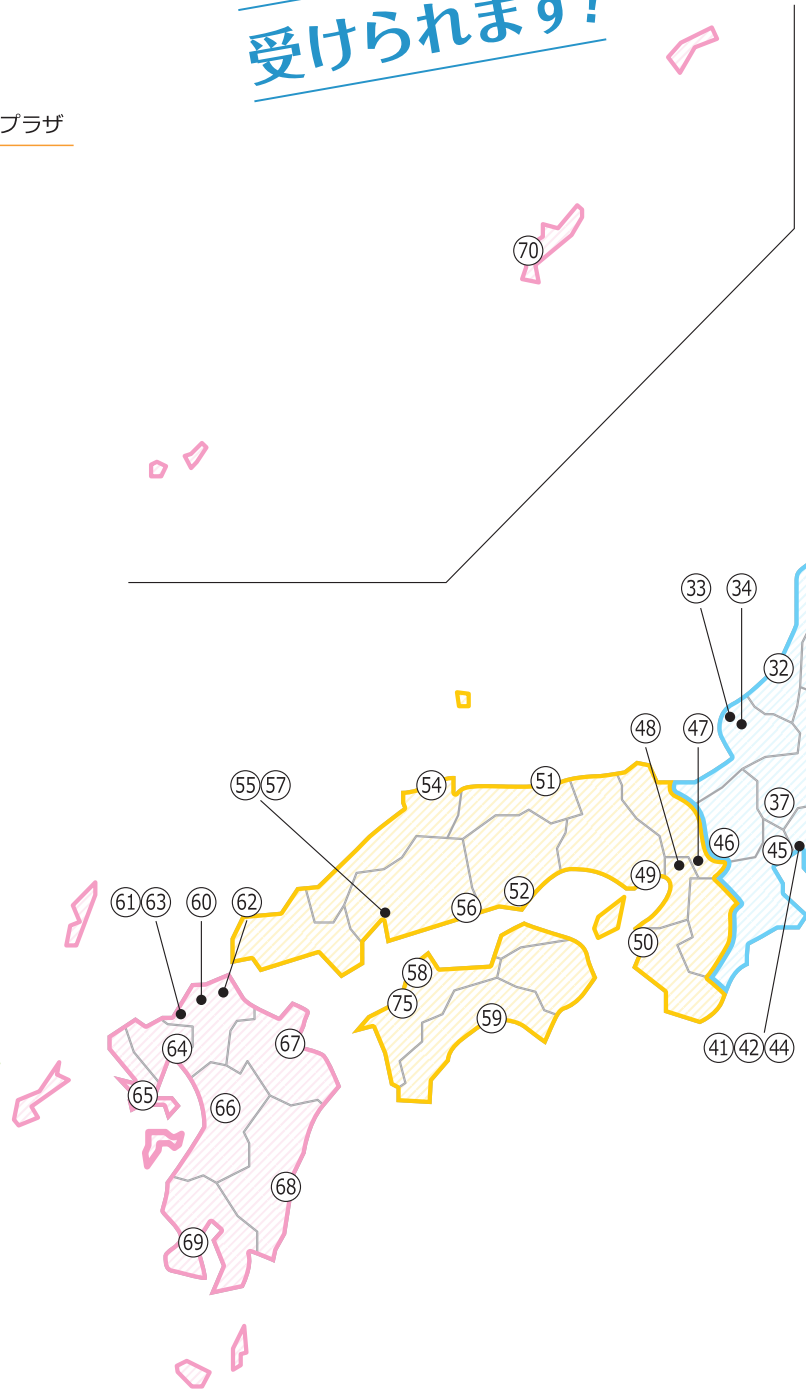


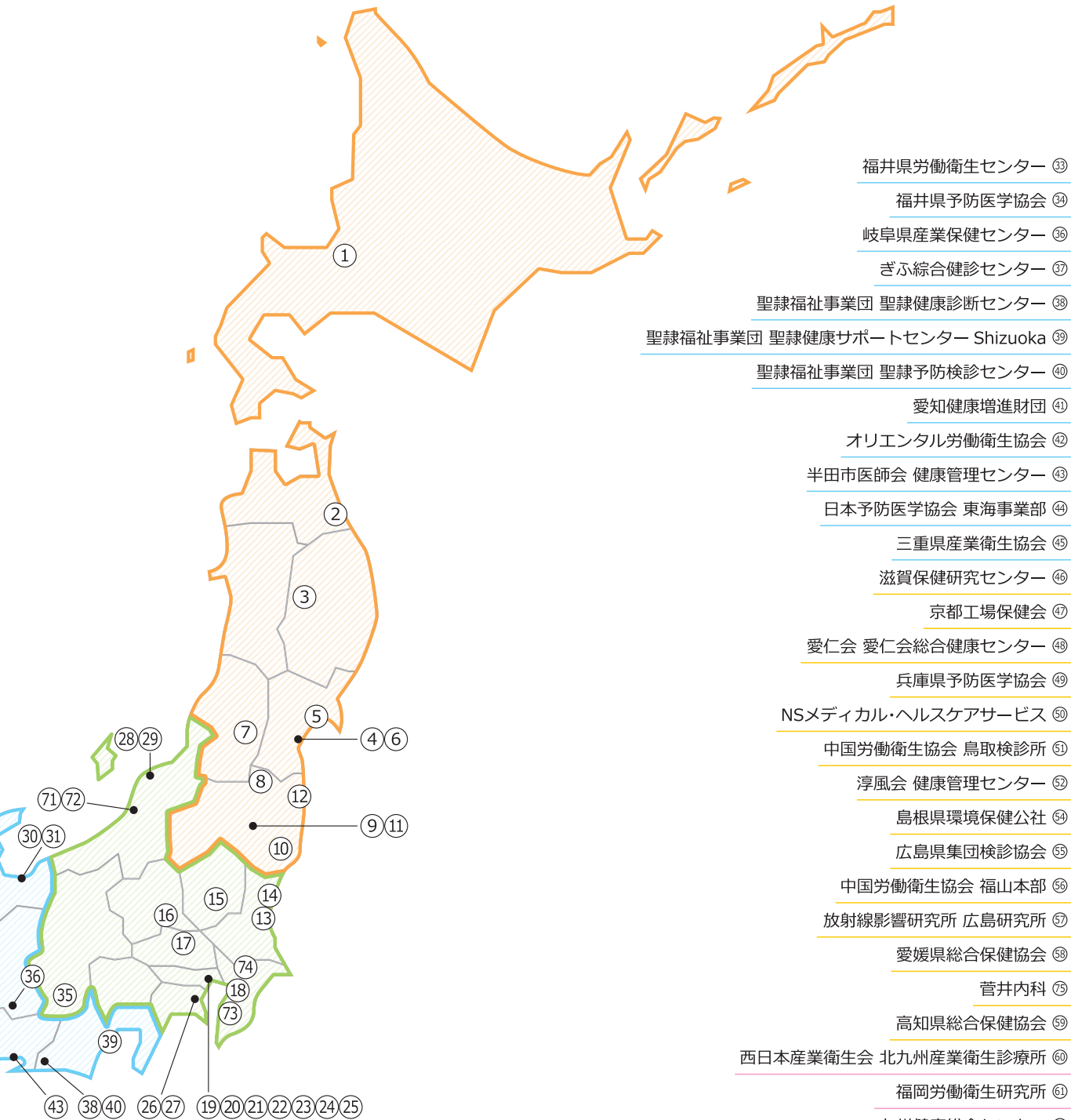
1) 国立がん研究センター がん罹患数予測(2016年) 参考文献 NHK きょうの健康5月号 No.350, 82-85, 2017

受診可能健診機関MAP

- ① 北海道労働保健管理協会
- ② 八戸市総合健診センター
- ③ 岩手県予防医学協会
- ④ 杜の都産業保健会 一番町健診クリニック
- 北海道・東北**
- ⑤ 宮城県成人病予防協会附属仙台循環器病センター 総合健診センター
- ⑥ 宮城県成人病予防協会 中央診療所
- ⑦ 日本健康管理協会 山形健康管理センター
- ⑧ 福島県労働保健センター
- ⑨ 星総合病院
- ⑩ 福島県労働保健センター いわき好間コミュニティ健診プラザ
- ⑪ 三春町立三春病院
- ⑫ 南相馬市立総合病院
- ⑬ 茨城県総合健診協会
- ⑭ 株式会社日立製作所 日立健康管理センタ
- ⑮ 栃木県保健衛生事業団
- ⑯ 日本健康管理協会 伊勢崎健診プラザ
- ⑰ 埼玉県健康づくり事業団
- ⑱ ちば県民保健予防財団
- ⑲ 君津健康センター
- ⑳ 聖隷佐倉市民病院健診センター
- ㉑ 健康医学協会 東都クリニック
- 関東・甲信越**
- ㉒ 東京都予防医学協会
- ㉓ 日本予防医学協会附属診療所 ウェルビーイング毛利
- ㉔ 同友会 春日クリニック
- ㉕ こころとからだの元気プラザ
- ㉖ 綜友会 高戸橋クリニック
- ㉗ 綜友会 第二臨海クリニック
- ㉘ 神奈川県予防医学協会
- ㉙ 神奈川県結核予防会
- ㉚ 新潟県労働衛生医学協会 プラールカ健康増進センター
- ㉛ 新潟県労働衛生医学協会 アクアール長岡健康増進センター
- ㉜ 健康医学予防協会 新潟健診プラザ
- ㉝ 健康医学予防協会 長岡健康管理センター
- ㉞ 中部公衆医学研究所
- 東海・北陸**
- ㉟ 北陸予防医学協会 高岡総合健診センター
- ㊱ 北陸予防医学協会 健康管理センター
- ㊲ 石川県予防医学協会

お近くの
機関で健診が
受けられます!



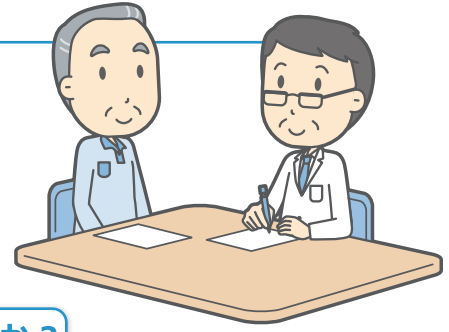


東海・北陸

近畿・中国・四国

九州

- 福井県労働衛生センター ③③
- 福井県予防医学協会 ③④
- 岐阜県産業保健センター ③⑤
- ぎふ総合健診センター ③⑦
- 聖隷福祉事業団 聖隷健康診断センター ③⑧
- 聖隷福祉事業団 聖隷健康サポートセンター Shizuoka ③⑨
- 聖隷福祉事業団 聖隷予防検診センター ④⑩
- 愛知健康増進財団 ④⑪
- オリエンタル労働衛生協会 ④⑫
- 半田市医師会 健康管理センター ④⑬
- 日本予防医学協会 東海事業部 ④⑭
- 三重県産業衛生協会 ④⑮
- 滋賀保健研究センター ④⑯
- 京都工場保健会 ④⑰
- 愛仁会 愛仁会総合健康センター ④⑱
- 兵庫県予防医学協会 ④⑲
- NSメディカル・ヘルスケアサービス ⑤⑰
- 中国労働衛生協会 鳥取検診所 ⑤⑱
- 淳風会 健康管理センター ⑤⑲
- 島根県環境保健公社 ⑤⑳
- 広島県集団検診協会 ⑤㉑
- 中国労働衛生協会 福山本部 ⑤㉒
- 放射線影響研究所 広島研究所 ⑤㉓
- 愛媛県総合保健協会 ⑤㉔
- 菅井内科 ⑤㉕
- 高知県総合保健協会 ⑤㉖
- 西日本産業衛生会 北九州産業衛生診療所 ⑥⑰
- 福岡労働衛生研究所 ⑥⑱
- 九州健康総合センター ⑥㉒
- 医療情報健康財団 ⑥㉓
- 佐賀県産業医学協会 ⑥㉔
- 放射線影響研究所 長崎研究所 ⑥㉕
- 熊本県総合保健センター ⑥㉖
- 大分総合健診センター ⑥㉗
- 宮崎県健康づくり協会 ⑥㉘
- 鹿児島県労働基準協会 ヘルスサポートセンター鹿児島 ⑥㉙
- 那覇市医師会 生活習慣病検診センター ⑦⑰



Q&A 健診受診に関してよくある質問

Q: この研究に協力して健診を受けるメリットは何ですか？

A: 研究にご協力いただくことで、継続して健康診断を定期的に受けていただくことができます。その健診結果は、あなたの生涯にわたって事務局に保存されますので、長期間にわたる健康度のわずかな変化がわかり、あなたの健康管理に役立てることができます。

Q: 健康診断を定期的に受けるということですが、毎年ですか？

A: この研究の健康診断は毎年ではなく、3～4年に1回実施となっております。1回目を受けられた方は、次回の健診時期が近づきましたらご案内をお送りいたします。

Q: 参加したいけれど、健診費用や健診機関までの交通費は自己負担になるのですか？

A: 健診費用は無料です。交通費に関しては、交通費支払の規定に基づき最寄りの健診機関までの往復交通費をお支払いします。ただし、健診後に要精密検査となった場合はご自身の健康保険でのご負担となります。

Q: 健診の検査結果はもらえますか？

A: 健診後、1ヶ月以内を目途に健診機関よりご自宅などに結果が郵送されます。



Q: 緊急作業従事者向けの健康相談や労災に関して相談できる窓口はありますか？

A: 厚生労働省では緊急作業従事者向けの健康相談窓口と放射線被ばくに係る労災補償や労災保険給付などの相談窓口を設けています。下記にお問合せください。

緊急作業従事者向けの健康相談

【TEL】0120-808-609(※フリーダイヤル/全衛連本部)

相談時間: 9:00～17:00(平日)

労災保険相談ダイヤル

【TEL】0570-006031(※ご利用には通話料がかかります。)

相談時間: 9:00～17:00(平日)

※ ご不明な点がございましたら、お気軽に事務局(フリーダイヤル: 0120-931-026)にお問い合わせください。

「東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究」研究に関するお問い合わせ先(土曜、日曜、祝日を除く午前8時半から午後5時)



〒732-0815 広島市南区比治山公園5-2

公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 緊急作業従事者健康調査室

フリーダイヤル

放影研代表

E-mail

0120-931-026

TEL 082-261-3131

newstudy-jimu@rerf.or.jp